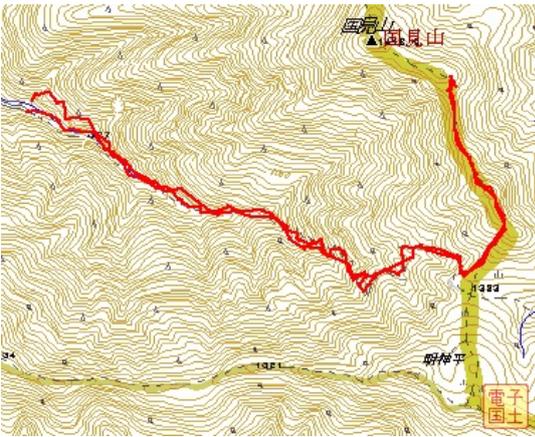


山行報告書

京都田辺山友会

報告者 佐坂茂美

山名	明神平—国見山		山行名	例会		
ルート	新田辺駅＝大又林道＝登山口—明神滝—明神平—国見山—登山口＝大又林道＝新田辺駅					
山行日	2015年1月25日		天候	晴れ		
参加者	リーダー：佐坂 サブリーダー：山下 男性：植西、中島、小川、広瀬、中田 女性：大谷、岡本 合計：9名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		
	新田辺駅	集	6:20	明神平	着	13:50
		発	6:30		発	14:10
	大又林道終 点（登山口）	着	9:20	登山口	着	15:27
		発	9:30		発	15:40
	明神の滝	着	10:30	新田辺駅	着	18:30
		発				
明神平 （昼食）	着	11:35				
	発	12:05				
国見山	着	12:50				
	発					

山行報告

昨年の豪雪とは打って変わっての快晴。それも前日の24日は平年並みの冷氣、翌日26日は予報通りの雨。晴れ男の面目躍如と自画自賛しながらの山行となりました。大又林道も殆ど雪は無く登山口まで車で入ることが出来ました。登山口でアイゼンを装着し、若干凍結した道を踏みしめながらの山行開始です。入山直前に色々反省もあり、準備しておいた地形図を使いコンパス合せも実施しました。

踏み固められた山道は心地よく何度か渡渉を繰り返し、やがて「明神の滝」を通過しました。昨年は雪の為この滝の手前で断念したことを思い出しながら登り続けると徐々に樹氷の「おもてなし」が待っていてくれました。参加者の足もほぐ揃っており11時35分に明神平に到着。南に位置する明神山ではスキーを楽しんでいる人たちもいました。天候も良かったため国見山にも登頂し途中の尾根筋の樹氷を楽しむことにし、水無山までは全員で向かいましたが、「樹氷は堪能した」参加者は国見山まで行く事を断念しゆっくりと雪中で休憩・談笑することになりました。過去には国見山から明神平に帰らずにルートの無い尾根筋を下攀したこともあったとか。地形図を見ると左程難しルートではなさそうなので一度はチャレンジしてみたいとの思いに駆られます。合流後、皆で明神平に到着すると、そこにテントが一張。中に5人の登山者。この人たちは滋賀労山の会員だとの事で少しの間ですが言葉を交わす「仲間意識」が芽生えました。



復路は往路と同じピストンですが、少しだけ脚吊気味の参加者が現れましたが、酷くなる前に応急措置を施し、荷物も分担し無事に下山出来ました。

下山後の帰路もルートを熟知されている植西さんにアナログナビをして頂き、予定通りの6時30分に新田辺に到着。

素晴らしい天候、素晴らしい仲間、素晴らしい樹氷、おじんギャグ等々 十分に楽しませて頂きました。

ヒヤリハット：無し



この時期の明神平は天気さえ良ければ素晴らしい景観を呈してくれるので私の好きな山のひとつです。去年は頸椎のヘルニアが酷く、残念ながら参加できなかったのですが今年は何としても行こうと思っていました。

朝6時に新田辺に集合し2台の車に9人が便乗し、向かうことになった。麓の会館に着き、ご主人にどこまで車で行けるか？雪はどの程度かを確認し、行けるところまで車で行こうとS氏運転の冬用タイヤ装着の四駆に先行してもらいノーマルタイヤで2駆の私の車は後を付いていったが先行車は駐車場を過ぎても快調に登っていくが、私の車は雪でスリップしだし、やむなくタイヤチェーンを装着し車止めまで登れた。3年前のバス山行時のアクシデントを思い出し、事故もなくここまでこられたことに安堵。



去年は雪が多く、登山口まで2時間かかり、滝のところで残念したとのことを聴き、今日はラッキーである。

9時半に登り始めたが準備にグズグズしていたため、長老のU氏は待ちきれず、一人先行。やっとのことで追いつき、滝の上部の撮影ポイントで記念写真。

その後、樹氷のキレイさに見とれながら順調に高度を稼いで行った。

高度が上がるに連れて樹氷の長さが長くなり1.5センチ程にも成長し、それが朝日に照らされアラレのように降ってきて頭に当たったり首筋に入りこんだりして悲鳴を上げる。

明神平の小屋に着いたのが11時半。その後、昼食を取り時間も早く又、風もなく天気も良いので国見山まで足を延ばすことにした。

国見山までは約1時間で山頂に到着。ここまで来ると1m程度の積雪があり、山頂標識の柱部分は雪の中。

ここでもう一枚記念写真を撮る。

明神平に戻る途中、狭いゲレンデのように木のない斜面があり、私とO女子の2人がビニルシートを尻に敷き滑って降りた事により、SLから一番楽しんだから感想文だと言われました。

まあ、何はともあれ 楽しい一日を過ごさせて戴きました。

CL・SLありがとうございました。



八幡温泉によって今日の山情報を教えていただいた。林道終点ぎりぎりまで車で行けるとのこと。道路片側半分程度の積雪。車は方向転換するだけで、スリップした。小川さんが最新のチェーンを出してさっさと装着。おかげで登山口がすぐ。実にありがたかった。去年は登山道の入口付近が大崩壊していた。体をくねらせて通ったのに、きれいに復旧されていた。頂上ま



での数か所も登山道が壊れていたが、そこもすっかり修復されていた。東吉野村の方々の明神に寄せる熱い思いに触れた感じがした。大変な工事だったでしょうに。登山道入口にカンパ募金箱を置いてほしいと思いました。去年は大雪で滝までも進めず引き返したが、今年は 20, 30 センチの積雪で歩きやすく、明神の滝まで楽に進めた。時間に余裕もあっていただいた地図を使って、コンパスの使い方も教えていただいた。水飲み場を過ぎたところから、樹氷がいよいよ大きく立派に樹を飾って見応え十分。ときどき氷片がぱらぱらと落ちてきて頭を打つ。悲鳴が上がる場面も

あった。9時半出発で12時到着。珍しいほどの上天気でお昼御飯もおいしい。佐坂さんが山口さんに代わって晴れ男になったと、交代宣言。これからも晴れ晴れで頼みますよと念じた。ぽかぽか陽気で、国見岳まで一足とび。雪中を飛び跳ねる如く一気に山頂に立ったが、後続の4人が、待てど暮らせど到着しない。見知らぬ方が、伝令で、伝えてくれた。途中で待っているから早く降りてくるようにとのこと。私が自分のペースでピッチを上げすぎたのがいけなかった。またもや失敗してしまった。弱い人の足取りに合わせる難しさ。肝に銘じたつもりでも明神平からの下山中にも同じことが。その間釣り名人が、今年初のつりを体験していたらしく、悪いことをしてしまった。釣りは忘れたころにやってくる。足に気をつかってやらなければいけないのに、ぐっと体重をかけたらしい。滝からは山下さんが先頭を歩いてくれた。冷えと疲労でまたもやつりが発生。でもみんなでエアーサロンパスをだしたり、リュックを持ってもらったりして無事に下山。

今までの明神登山の中では最高の好天気で、美しい雪景色に出会えたこと、うれしかった。国見に行く途中眺めた山々のなだらかなつらなりが、また一つ大きな思い出となった。



写真提供：山下さん、中田さん